

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学年	1年生	担当教員	高橋	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC	時間数	170単位時間	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで700点、11月のTOEIC公開テストで800点をを目指す				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
貿易会社での翻訳業務経験7年				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
大手英会話教室講師経験あり				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	第1章 文の種類	基本的な文の形
学年	1年生	担当教員	坂上啓貴	2	第2章 動詞と文型①	be動詞の使い方
科目名	Grammar I	時間数	34単位時間	3	第2章 動詞と文型②	一般動詞の使い方
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第2章 動詞と文型の復習	be動詞・一般動詞の使い方の復習と確認
使用テキスト名	学研パーフェクトコース中学英語問題集			5	第3章 命令文	命令文の基本用法を学習する
補助教材				6	第4章 疑問詞・疑問文①	5W1Hの疑問詞を用いた構文を学習する
科目概要と科目到達目標 科目概要: 中学校からの文法をおさらいすることで英語を話す土台を身につける 科目到達目標: 英語を話す材料を自然に使い分けられる。				7	第4章 疑問詞・疑問文②	5W1Hの疑問詞を用いた構文を学習する
				8	第5章 進行形①	現在進行形の基本・応用を学習する
授業の進め方・学習方法・課題 英文のイメージトレーニングを身に付けるために文章の基本的な形を覚える 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	第5章 進行形②	過去進行形・未来進行形を学習する
				10	第6章 過去の文①	過去形の基本型を学ぶ
				11	第6章 過去の文②	過去形の応用型を学ぶ
				12	第7章 未来の文①	be動詞を用いた未来形を学習する
				13	第7章 未来の文②	助動詞willを用いた未来形を学習する
				14	第8章 いろいろな分	知覚動詞・使役動詞を学習する
評価方法・成績評価基準 ①定期テスト50%、②課題提出率30%、授業に対する意欲20%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	第9章 There is構文	There is構文の基本型・否定形・疑問形を学習する
				16	復習	前期までの復習
				17	評価	中間テスト
				18	第10章 不定詞①	不定詞の副詞的用法を学習する
				19	第10章 不定詞②	不定詞の名詞的用法を学習する
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20	第10章 不定詞③	不定詞の形容詞的用法を学習する
				21	第11章 比較	比較・最上級を学習する
				22	第12章 受動態①	受動態の基本型を学ぶ
				23	第12章 受動態②	受動態の応用型を学ぶ
				24	第13章 現在完了形①	現在完了形の基本・応用を学習する
				25	第13章 現在完了形②	現在完了形を用いた疑問形・否定形を学ぶ
				26	第14章 不定詞といろいろな文型	不定詞を用いた様々な形を学習する
				27	第15章 名詞を修飾する句・節	冠詞・特定冠詞について学習する
				28	第16章 関係代名詞①	主格の関係代名詞について学習する
				29	第16章 関係代名詞②	目的格の関係代名詞について学習する
実務経験教員の経歴				30	第17章 関係疑問・付加疑問・否定疑問	様々な疑問形を学習する
				31	第18章 感嘆文・話法・仮定法	直接・関係話法、ifを用いた仮定法について学習する
				32	総復習	
				33	総復習	
				34	評価	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	【演習】文の内容一致選択 ①	リスニング力を向上させる
学年	1学年	担当教員	坂上 啓貴	2	【演習】文の内容一致選択 ②	リスニング力を向上させる
科目名	Intensive English I	時間数	34単位時間	3	【演習】音読パッセージ問題①	スピーキング力を向上させる
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	4	【演習】音読パッセージ問題②	スピーキング力を向上させる
使用テキスト名	CALLAN METHOD Student7s Book With Vocabulary Stage 1 Intensive English student work			5	短文の語句空所補充①	リーディング力を向上させる
補助教材				6	短文の語句空所補充②	リーディング力を向上させる
科目概要と科目到達目標 読む、書く、聞く、話すの4技能を習得する				7	会話の内容一致選択①	リスニング力を向上させる
				8	会話の内容一致選択②	リスニング力を向上させる
授業の進め方・学習方法・課題 レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	イラスト問題①	スピーキング力を向上させる
				10	イラスト問題②	スピーキング力を向上させる
				11	意見・応答問題①	スピーキング力を向上させる
				12	意見応答問題②	スピーキング力を向上させる
				13	意見応答問題③	スピーキング力を向上させる
				14	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
				15	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
評価方法・成績評価基準 ①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				17	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				18	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				19	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				20	TOEIC公開テスト対策	スピーキング力を向上させる
実務経験教員の経歴				21	意見応答問題⑤	スピーキング力を向上させる
				22	CALLAN METHOD Lesson 1	会話表現をマスターする
				23	CALLAN METHOD Lesson 2	会話表現をマスターする
				24	CALLAN METHOD Lesson 3	会話表現をマスターする
				25	CALLAN METHOD Lesson 4	会話表現をマスターする
				26	CALLAN METHOD Lesson 5	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				27	CALLAN METHOD Lesson 6	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				28	CALLAN METHOD Lesson 7	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				29	CALLAN METHOD Lesson 8	問題提起をする
				30	CALLAN METHOD Lesson 9	問題提起をする
				31	Revision Exercise 1	様々な状況に応じた質問に返答する
				32	Revision Exercise 2	様々な状況に応じた質問に返答する
				33	Revision Exercise 3	様々な状況に応じた質問に返答する
				34	Revision Exercise 4	様々な状況に応じた質問に返答する

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1: People	Meet people; Ask personal info
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	2		Describe people & occupations; compare
学年	1年	担当教員	Marcos	3	Unit 2: A day in the Life	Talk about typical day; free time
科目名	Speaking I	時間数	68単位時間	4		Describe special days, hobbies, interests
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5		Plan a party (Group work)
使用テキスト名	World English 1			6	Unit 3: Going Places	Possessions, Travel info, Ask & Give advice
補助教材				7		Describe a place & Plan a vacation
				8		Give presentaion about a vacation
科目概要と科目到達目標				9	Review: Vocab & Speaking	Q & A about your Vacation plan!
英語で基本的なコミュニケーションが図れる能力を身につける。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				10	Unit 4: Food	Recipe, menus, ordereing
				11		Talk about diets, Plan a farm or garden
				12		Role play: in a resturant, ordering online
				13	Unit 5: Sports	Activities, favotire sports, compare
				14		Frequency of activity, survey
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review: Vocab & Speaking	More role play for activities (Sports or Food)
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで発表しながら基本的な形式をマスターする 対面授業と遠隔授業の併用実施				16		Review vocab & Grammar
				17	Test (First five unit test)	Test
				18	Unit 6: Destinations	Past vacations, weekend; asking about places
				19		Fdescribe qan Ancient place; find and share info online
				20	Unti 7: Communication	Personal communication, exchanging info
評価方法・成績評価基準				21		Describe sights, sounds & other sensations
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Unti 8: Making Plans	Short term or long term, Predictions or opinions about future
				23		Solve problems; discuss personality
				24	Review: Vocab & Speaking	Group presentation (Introduction)
				25		Give presentaion about the future; Q&A
				26	Unti 9: Types of Clothing	Compare and buy clothes, Role play shopping
				27		Describe and discuss fashion
				28	Unti 10: Lifestyles	Discuss healthy & unhealthy habits
				29		Lifetyles & Happiness
				30	Unti 11: Achievements	Interview for job, Talk about self achievements
				31		Plan for success, write resume (English)
実務経験教員の経歴				32	Review: Vocab & Speaking	Prepare for final test
				33		Role play interview
				34		Vocab & Grammar test

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
				1	Paleolithic Age	Human development into civilization: Tools, Language, Art, Hunters & Gatherers				
学 科 名	上級英語科	必須・選択	必須	2	Paleolithic Age	Human development into civilization: Tools, Language, Art, First Farmers, Hunters & Gatherers				
学 年	1年生	担当教員	Mark Marin	3	Neolithic Age	Human development into civilization: Tools, Language, Art, First Farmers, Urbanization				
科 目 名	Culture Studies I	時間数	34単位時間	4	Neolithic Age	Human development into civilization: Tools, Language, Art, First Farmers, Urbanization				
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	Review of Early Man	Report, Presentation				
使用テキスト名	Essential Humanities (Western History & Society)			6	Review of Early Man	Quiz 1				
補助教材	パワーポイントスライド			7	Early Civilizations	Ancient World: Mesopotamia, Egypt				
				8	Early Civilizations	Ancient World: Indus, China				
科目概要と科目到達目標				9	Early Civilizations	Ancient World: Mesoamerica				
This course is designed to enable students to learn in English the development of human society. The first year will focus on the vocabulary; understanding and application. Students will be able to gain greater understanding in English about humans and their cultural development as well as apply that knowledge in tests and real life situations.				10	Review of Early Civilizations	Report, Presentation				
				11	Review of Early Civilizations	Quiz 2				
				12	Early Civilization Innovations	Language, Tools, Trade, Industry				
				13	Early Civilization: Creation	Arts, Religion, War				
				14	Early Civilization: Society	Daily Life, Customs, Family				
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review: Innovation, Creation, Society	Report, Presentation				
Challenge of the course is to use English in subject areas that the students have already studied in high school. By using English as the primary language, students will have a greater world understanding and sensitivity. 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	Review: Innovation, Creation, Society	Quiz 3				
				17	The Beginning of Modern Societies	Greece, Mycenae, Troy (Aegean Sea)				
				18	The Beginning of Modern Societies	Alexander the Great (Greece, Egypt, Middle East & India)				
				19	The Beginning of Modern Societies	Persia (North Africa, Turkey, Middle East)				
				20	The Beginning of Modern Societies	Rome (Early Europe, Middle East, Balkans; Trade with China and Asia)				
評価方法・成績評価基準				21	Review: Modern Societies	Report/Presentation (One society)				
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	Review: Modern Societies	Quiz 4				
				【成績評価基準】				23	Other Societies: Non-Western Growth	Asia: China, Japan, India
				A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Other Societies: Non-Western Growth	Africa: Kush/Aksun
				B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	Other Societies: Non-Western Growth	New World: Mesoamericans
				C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	Review: Other Societies	Report/Presentation (One society)
				D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	Review: Other Societies	Quiz 5
				E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Development of the Major Religions	Judaism, Christianity, Islam,
								29	Development of the Major Religions	Hindi, Buddhism
								30	Review: Major Religions	Report/Presentation (all comprehensive)
								31	Review: Major Religions	Quiz 6
実務経験教員の経歴				32	Presentation Project: Most Important Human Development	Report/Presentation (all comprehensive)				
				33	Presentation Project: Most Important Human Development	Report/Presentation (all comprehensive)				
				34	Final Exam	Quiz 7				

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Introduction	
学科名	上級英語科	必須・選択	通年	2	知っておくと便利なおもてなしの基本表現 1	外国人に質問するフレーズを覚える
学年	1年生	担当教員	皆川由子	3	知っておくと便利なおもてなしの基本表現 2	外国人に質問するフレーズを覚える
科目名	Express Japanese Cultures in English 1	時間数	34単位時間	4	第1章 日本の佇まい 着物	質問に対する答えをマスターする
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	第1章 日本の佇まい 日本の家屋	質問に対する答えをマスターする
使用テキスト名	30秒でできるニッポン紹介 おもてなし英会話			6	第1章 日本の佇まい 暖炉	質問に対する答えをマスターする
補助教材				7	第1章 日本の佇まい 提灯	質問に対する答えをマスターする
科目概要と科目到達目標				8	第2章 日本の象徴 天皇	質問に対する答えをマスターする
科目概要:外国人とのコミュニケーションが取れる材料となるよう世界の観光について学ぶ。				9	第2章 日本の象徴 富士山	質問に対する答えをマスターする
科目到達目標:世界の観光について学び、グループで学んだ知識を生かしプレゼンテーションができるようになる。				10	第2章 日本の象徴 神社	質問に対する答えをマスターする
				11	第2章 日本の象徴 禅	質問に対する答えをマスターする
				12	第2章 日本の象徴 仏教	質問に対する答えをマスターする
				13	第2章 日本の象徴 侍、城	質問に対する答えをマスターする
				14	第2章 日本の象徴 侘び・寂び	質問に対する答えをマスターする
授業の進め方・学習方法・課題				15	ロールプレイング	覚えたことを実際に表現してみる
世界の観光について英語で学びその国について簡単なプレゼンテーションができる				16	ロールプレイング	覚えたことを実際に表現してみる
授業の進め方については、日本人行徳と外国人講師のチームティーチング。				17	復習テスト	前期のまとめと振り返り
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	第3章 日本の食文化について	質問に対する答えをマスターする
				19	第3章 日本の職 寿司	質問に対する答えをマスターする
				20	TOEIC公開テスト対策	質問に対する答えをマスターする
評価方法・成績評価基準				21	第3章 日本の職 天ぷら、焼き鳥	質問に対する答えをマスターする
①プレゼンテーション力50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	第3章 日本の職 とんかつ 懐石	質問に対する答えをマスターする
【成績評価基準】				23	第3章 日本の職 うなぎ、そば	質問に対する答えをマスターする
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第3章 日本の職 ラーメン、カレーライス	質問に対する答えをマスターする
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第3章 日本の職 お好み焼き	質問に対する答えをマスターする
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	第3章 日本の職 どんぶりもの	質問に対する答えをマスターする
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第3章 日本の職 弁当	質問に対する答えをマスターする
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第3章 日本の職 梅干し ワサビ 鯉節	質問に対する答えをマスターする
				29	第3章 日本の職 お茶	質問に対する答えをマスターする
				30	第3章 日本の職 和菓子	質問に対する答えをマスターする
				31	第3章 日本の職 酒	質問に対する答えをマスターする
実務経験教員の経歴				32	第3章 日本の職 焼酎	質問に対する答えをマスターする
				33	ロールプレイング	覚えたことを実際に表現してみる
				34	ロールプレイング	覚えたことを実際に表現してみる

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Intro: 観光英語・観光英検とは	観光英語、観光英検について学ぶ
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	2	Unit1: Travel	インバウンドへの対応方法を学ぶ
学年	1年生	担当教員	小林恵子	3	Transportation from the Airport to the Hotel	
科目名	Hospitality I	時間数	34単位時間	4	Unit2: Jobs and People	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	At a Hotel: Explaining a Key Card	
使用テキスト名	ベーシック観光英語			6	Unit3: Getting on the Plane	交通機関(飛行機)の説明方法を学ぶ
補助教材				7	At a Hotel: Departure by Taxi	
科目概要と科目到達目標				8	Unit4: At the immigration and Customs	入国審査・税関について学ぶ
				9	Greeting a Guest at the Ryokan	
科目概要: 旅行や観光の際のさまざまな場面での専門的な用語や言い回しをマスターする				10	Review&Test	空港での利用方法を学ぶ
科目到達目標: さまざまな仕事の中で使うフレーズを使い場面に応じた接客用語を使えるようになる。観光英検3級の取得になるよう、英単語の基礎知識、成句を学び、合格を目指す				11	Unit5: At the Airport	
				12	How to greet and attend at the Airport	
授業の進め方・学習方法・課題				13	Unit6: Hotel (Accommodations)	ホテル・旅館について学ぶ
各ユニットで使われている会話を学び、ロールプレイを繰り返すことで接客で使う英語のフレーズの習得を目指す				14	How to use a Ryokan Bath	
対面授業と遠隔授業の併用実施				15	Dinner service at the Ryokan	
評価方法・成績評価基準				16	Restaurant (Breakfast and Fast food)	観光(東京)を学ぶ
①実技試験50% ②授業への積極的参加30% ③課題提出物20%				17	Japanese Restaurant	
				18	Unit8: Sightseeing	
				19	Sightseeing in Japan	買い物・お土産について説明方法を学ぶ
				20	City tours in Tokyo	
				21	Unit9: Shopping	交通機関(電車・新幹線・タクシー)について学ぶ
				22	Gifts and Souvenirs	
				23	Unit10: Transportation	
【成績評価基準】				24	Bullet train tickets	苦情・問題への対応方法を学ぶ
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	Taking a Taxi	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	Taking the train in Tokyo	
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27	Unit11: Problems and Complaints	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	How to deal with the problems	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	Role play: Guest problems	
				30	How to deal with the complaints	
				31	Role play: Guest complaints	
実務経験教員の経歴				32	Test and Review	
				33	観光英検3級の問題に挑戦 Listening編	
				34	観光英検3級の問題に挑戦 Reading編	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	UNIT0 英作文を始める前に知っておこう	英作文の基本的な書き方を学ぶ
学年	1年生	担当教員	阿部塊地	2	UNIT1 主語と動詞を決めよう!	
科目名	Writing I	時間数	34単位時間	3	UNIT2 「～だ」「～がある・いる」	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	Writing課題	
使用テキスト名	基礎からの英作文			5	UNIT3 「～する」(日常生活・毎日の過ごし方)	
補助教材				6	UNIT4 「現在・いつも～する」	
				7	UNIT5 「～している」	
				8	Writing課題②	
科目概要と科目到達目標				9	UNIT6 「～した」「～したことがある」	基本を用いて文を長く書けるようにする
科目概要:ライティングの書き方から始め、最終的にスピーチコンテストで披露することを目標とする。 科目到達目標:英検ライティング対策とプレゼンテーション原稿を作成する				10	UNIT7 「～するつもりだ」「～だろう」「～したい」	
				11	UNIT8 「～できた」「～すべきだ」「～かもしれない」	
				12	UNIT9 「～のおかげで」「～のせいで」	
				13	UNIT10 「もし～なら」「～だったら…」	
				14	Writing課題③	
授業の進め方・学習方法・課題				15	UNIT11 実勢の一致に注意	
ライティングの書き方を学び、初歩的なライティングから英語検定に出題されるライティング問題をかけるようになる 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	UNIT12 文と文をつなぐ	
				17	UNIT13 同紙に説明を加える	
				18	UNIT14 名詞を説明する一分詞①	
				19	UNIT14 名詞を説明する一分詞②	
				20	TOEIC公開テスト対策	
評価方法・成績評価基準				21	UNIT15 名詞を説明する一関係代名詞②	英作文を書くコツを学び、NG解答例や英文の組み立て方、自己添削の例を確認する
①スピーチ原稿完成度50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	Writing課題④	
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	UNIT16 名詞の数と冠詞に注意	
				24	UNIT7 知っておきたい英作文のコツ	
				25	実践問題①「賛成と反対意見を述べる」	
				26	実践問題②「経験を書く・描写する」	
				27	実践問題③「Eメール文を書く」	
				28	Writing課題⑤	
				29	プレゼンテーションを作成する①	
				30	プレゼンテーションを作成する②	
実務経験教員の経歴				31	中間発表	実践問題を交え、プレゼンテーションを作成し、発表する
				32	プレゼンテーションを作成する③	
				33	プレゼンテーションを作成する④	
				34	プレゼンテーションを発表する	



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	What is TED? Introduction	Skills & techniques to be taught
学年	1年	担当教員	Macros	2	Demonstration Presentation	Model presentaion & genre
科目名	Presentation I	時間数	34単位時間	3	Introduce Online system; Using Internet Resources	Setting up online sources & links
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	The Physical Message	Foundations of Physical Communication
使用テキスト名	Speaking of Speech Premium Edition			5		Prepare and Perform Home town Presentation
補助教材				6	Gestures	Supporting your words with physical communication
<b>科目概要と科目到達目標</b> This course is designed to enable students to learn in English presentation skills. The first year will focus on the vocabulary, form, genre, understanding and application as well as other points such as grammar and function. Situational applications of English conversation will also be emphasised. Students will be able to gain greater understanding of English, the use of the language and its development. Students will be able to apply that knowledge in performance, tests and real life situations.				7		Prepare and Perform Preference of ideal campus
				8	Voice Inflection	How to emphasize key words to an audience
				9		Prepare and Perform Cooking Demo
				10	Introduce The Visual Message	Tools used to create the Visual Message
				11	Introduction and Practice	Using PowerPoint; Keynote for Presentation
				12	Effective Visuals	Analyze two kinds of presedtations
				13		
				14	Explaining Visuals	Showing Comparisons; Most effective technics
				15		
				<b>授業の進め方・学習方法・課題</b> Challenge of the course is to speak in English and give a live presentation. In addition, to listen and quickly understand is essential. By using English as the primary language, students will have a greater world understanding and sensitivity.		
17						
18	Visual Presentation	Prepare & Present a comparison of two countries				
19						
<b>対面授業と遠隔授業の併用実施</b>				20	TOEIC公開テスト対策	Creating effective slides; weighing both sides; use of interesting vocabulary and physical dstyles
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	The introduction	Designing Intersting Intros
				23		
				24	The Body: Written Content	Working with tables or Graphs; Presenting Statistics in an intersting manner
				25		
				26	The Conclusion: Finish off with power!	Making Memorable Conclusions
				27		
				28	Prepare Presdentaion	Create individual or group Presentation: Topic to be decided by group or individual
				29		
				30	Practice Review	Demonstrate a Outline performance of Presentation; Peer review
				31		
<b>実務経験教員の経歴</b>				32	Final Presentations	Final Performance; Peer Review
Native of California, USA; 38 years teaching experience in USA, Japan & Europe; M.A. TEFL				33	Final Presentation	
				34	Final Presentation	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Getting Started	Sounds & Spelling
学 科 名	上級英語科	必須・選択	必須	2	(Diagnostic Test)	Speech Sounds
学 年	1年	担当教員	Mark Palmer	3	Getting Started	Practical Roll play
科 目 名	Pronouciation I	時間数	34単位時間	4	Getting Started	Consonants & Vowels
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	Getting Started	Review
使用テキスト名	Discovering English Sound			6	Consonants	Stops & Nasal
補助教材				7	Consonants	Roll play
				8	Consonants	Fricatives
科目概要と科目到達目標				9	Consonants	Review&roll play
科目概要:日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う 科目到達目標:日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				10	Consonants	Affricatives & Approximants
				11	Consonants	Review and Practice
				12	Consonants	More about Consonants
				13	Consonants	Review
				14	Vowels	Front & Back
授業の進め方・学習方法・課題				15	Vowels	Pronunciation check
日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				16	Vowels	Diphthongs & Central Vowels
				17	Vowels	Mid term Test
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	Vowels	Review the Test
				19	Vowels	Phonetic Symbols
				20	Vowels	Practice
評価方法・成績評価基準				21	Grouping	Syllables & Consonant Cluster
				22	Grouping	Practical Roll play
30%、課題40%、テスト30%				23	Grouping	Lnaguage Play & Sound Patterns
【成績評価基準】				24	Grouping	Review
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	Words	Stress & Forms
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	Words	Pair working practice
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27	Words	Phonemes & Allophones
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	Words	Practice
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	Words	Phonological Rules
				30	Sentences & Ryhtm	Linking & Assimilation
				31	Sentences & Ryhtm	Review
実務経験教員の経歴				32	Sentences & Ryhtm	Test Preparation
				33	Sentences & Ryhtm	Test Preparation
				34	Final Test	Diagnostic Test Review & Progrss Report

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Intro: 適切な英語表現とは	適切な英語表現について学習する
学 科 名	上級英語科	必須・選択	必須	2	Unit 1: アルバイトって英語じゃなかったの？	和製英語の洗い出しと矯正
学 年	1年生	担当教員	小林恵子	3	和製英語と英語の違い	
科 目 名	英語表現 I	時間数	34単位時間	4	Unit2: 足の指はfoot fingerだよ？	身体や部位を示す名詞を学習する
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	身体を示す英語の名詞	
使用テキスト名	Time to Start			6	Unit3: 青りんごはA blue appleでいいの？	正しい形容詞+名詞の作り方を学習する
補助教材				7	適切な形容詞+名詞を学ぶ	
				8	Unit4: 道を教えての教えてはteachだよ？	様々な動詞群から適切なものを選ぶ
科目概要と科目到達目標				9	同一の意味でも様々な言い方を学ぶ	
科目到達目標: 文法ベースの教科書を使い、フレーズごとに何度もグループで練習し覚えることで外国人と会話				10	確認テスト&復習	今までの復習
フレーズをマスターし会話につなげる				11	Unit5: このスープはいい匂いはthe soup is a good smellでいいの？	知覚動詞の適切な使い方を学習し、SVCを習得する
				12	正しい知覚動詞を学ぶ	
				13	Unit6: hardはどの語を修飾するの？	副詞+形容詞の使い方を学習する
				14	副詞と形容詞について学習する	
授業の進め方・学習方法・課題				15	Unit7: 昨夜怖い夢をみたってI saw a bad dreamでいいの？	成句について学習する
テーマとなる文法を使い分を話す練習を行うと共に口頭で素早く応答するクイックレスポンスのトレーニングを通				16	名詞によって変わる適切な動詞の用法を学ぶ	
会話の実践力を行う				17	テスト	
				18	前期振り返り	
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	Unit8: 否定語をどこに置くの？	適切な否定文の作り方を学習する
				20	適切な否定文を学習する	
評価方法・成績評価基準				21	Unit9: 私も！はtoo, either?	副詞・副詞+否定語を学ぶ
				22	同格、否定の意味をなす前置詞を学ぶ	
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	Unit10: がある・いるは英語でどう表現するの？	構文を用いた様々な言い方を学習する
				24	There is構文以外の様々な言い方を学ぶ	
【成績評価基準】				25	Unit11: 私は自転車を盗まれたはI was stolen my bikeでいいの？	受け身形+使役動詞を学習する
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	正しい受け身型、主語の変化を学ぶ	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	確認テスト&復習	単語のもつ様々なニュアンスについて学習する
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28	Unit12: 似たような単語ばかり、どれを選べばいいの？	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	文意、ニュアンスに合わせた単語選択を学ぶ	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	Unit13: 色々な疑問文に答える	疑問文・否定疑問文の答え方を学習する
				31	Yes/No疑問文以外の答え方を学ぶ	
実務経験教員の経歴				32	Unit14: 日本語の主語と英語の主語の違いを学ぶ	日本語と英語での意味の変わり方、文の作り方を学習する
				33	両言語の主語・目的格の違いについて学習する	
				34	Unit15: 実際のTOEIC問題に挑戦!	TOEICの問題にチャレンジする

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	●はじめに…… 何故メイクをするのか？ 授業進度について 評価方法	自分の顔にあったメイクを学ぶ
学 科 名	上級英語科	必須・選択	選択	2	●自己紹介 ・メイクについて絡ませながらの自己紹介	自分の顔にあったメイクを学ぶ
学 年	1年	担当教員	加藤 広美	3	●自分流のメイク	マナーとエチケットの違いを学ぶ
科 目 名	ビジネスメイク I	時間数	34単位時間	4	●普段のメイクと仕事メイクの違いについて	マナーとエチケットの違いを学ぶ
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	●接客業メイクについて 業種別メイク	職業別のメイクの特徴
使用テキスト名	なし			6	●顔立ちからのメイク方法	職業別のメイクの特徴
補助教材				7	●顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
				8	●顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	●顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
科目到達目標:自分自身で自分の顔をIMAGE MAKINGし社会人にふさわしいメイクを学ぶ				10	●顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ
対面授業と遠隔授業の併用実施				11	●顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ
				12	●顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ
				13	●顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ
				14	評価	
授業の進め方・学習方法・課題				15	●業界別メイクの特徴	業界別メイクとは
基礎となるベースメイクから業界に応じたビジネスメイクのしかたをそれぞれの学生にあった手入れの仕方を教える				16	●業界別メイクの特徴	業界別メイクとは
				17	●社会人としてふさわしい髪型とメイク	社会人にふさわしいメイクとは
				18	●社会人としてふさわしい髪型とメイク	社会人にふさわしいメイクとは
				19	●トータルメイクアップ	
				20	TOEIC公開テスト対策	社会人にふさわしいメイクとは
評価方法・成績評価基準				21	●社会人としてふさわしい髪型とメイク	社会人にふさわしいメイクとは
出席率50%、テスト30%、積極性20%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイクとは
				23	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイクとは
				24	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイクとは
				25	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイクとは
				26	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
				27	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
				28	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
				29	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
				30	●立ち居振る舞い	服装に適したメイクとは何かを学ぶ
				31	●立ち居振る舞い	服装に適したメイクとは何かを学ぶ
実務経験教員の経歴				32	●立ち居振る舞い	服装に適したメイクとは何かを学ぶ
某化粧品会社に勤務経験あり 企業へのマナー研修指導多数				33	評価	
				34	評価	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	SUCCESS P6～P11 就職活動の心構え	社会人と学生の違いを知る
学年	1年生	担当教員	坂上啓貴	2	SUCCESS P12～P16就職活動の心構え	社会人と学生の違いを知る
科目名	キャリアアップ I	時間数	34単位時間	3	SUCCESS P17～P20 ①自分自身を知る②自己分析で考えるポイント	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	SUCCESS P21 ①自己PRの作り方	自己分析をする
使用テキスト名	勝つための就職ガイド NEW SUCCESS			5	SUCCESS P24 ①現在までの自分史を作成しよう	自己分析をする
補助教材	パワーポイントスライド			6	SUCCESS P25 ①自己PR分の基本構成作成	自己分析をする
科目概要と科目到達目標 科目到達目標:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				7	SUCCESS P27～29 ①職業を知る (業種と職種を理解)	職業観を身に付ける
				8	SUCCESS P30～P31 志望動機 ①志望動機とは何か②基本パターン	職業観を身に付ける
授業の進め方・学習方法・課題 自己PRを自己分析シートを使って正しい言葉を使いながら文章に仕上げる 業界に適した一般常識問題をマスターする 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	SUCCESS P32～P34 志望動機 ①志望動機作成ワークシート(専門職、営業)	志望動機を書くためのポイント
				10	SUCCESS P35～P37情報収集のポイント ①職種企業を絞り込むには	職種について考える
				11	SUCCESS P38～P39企業研究の方法	企業研究の方法を学ぶ
				12	SUCCESS P40～P41就活における電子メール使用の注意点	個人情報について学ぶ
				13	SUCCESS P42 facebook twitterの活用について	SNSについて学ぶ
				14	SUCCESS P43～P44 資料請求の仕方(はがきの場合、メールで請求の場合)	資料請求について
評価方法・成績評価基準 一般常識テスト40%、書類作成の理解度30%、学習意欲20%、面接対策10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	SUCCESS P45 お礼状の書き方①メールの場合②手紙の場合	書類の書き方を学ぶ
				16	SUCCESS P46～48 求人票の見方①求人者②採用条件③勤務条件	求人票の見方とナローワークに関して理解する
				17	SUCCESS P49～50 インターシップのしくみ ①インターシップ体験の活かし方	インターシップの利点を理解する
				18	SUCCESS P51～P52 作成書類 ①エントリーシートとは②エントリーシートの書き方	エントリーシートとは何かを学ぶ
				19	SUCCESS P53 作成書類 ①エントリーシートの入手時期と内容	会社別エントリーシートとは
				20	TOEIC公開テスト対策	履歴書作成に關しての注意点を学ぶ
実務経験教員の経歴 キャリアアドバイザー検定取得者、実務経験6年 航空、一般企業勤務経歴有				21	SUCCESS P56～P57 第一回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書を書いてみる
				22	SUCCESS P56～P57 第二回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書を書いてみる
				23	SUCCESS P58 応募書類の添え状について	添え状の書き方について学ぶ
				24	最新最強の一般常識 時事問題 政治 国際情勢	筆記試験対策
				25	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済の基礎知識の確認	筆記試験対策
				26	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済情勢を把握する	筆記試験対策
				27	最新最強の一般常識 時事問題 産業①産業界の分析②労働に關した法律	筆記試験対策
				28	最新最強の一般常識 時事問題 金融①金融用語の把握②金融商品	筆記試験対策
				29	最新最強の一般常識 時事問題 科学技術①コンピューター用語	筆記試験対策
				30	最新最強のSPI SPIの基礎知識 SPI適正検査とは	筆記試験対策
				31	最新最強のSPI 非言語能力問題	筆記試験対策
				32	最新最強のSPI 非言語能力問題	筆記試験対策
				33	最新最強のSPI 言語能力問題	筆記試験対策
				34	最新最強のSPI 言語能力問題	筆記試験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	第1章 秘書のこころ構え	社会人としての心構え
学年	1年生	担当教員	古沢 通子	2	第1章 秘書のこころ構え	機密を守る
科目名	秘書検定対策	時間数	34単位時間	3	第1章 秘書のこころ構え	仕事を処理する際の心構え
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第2章 要求される資源	秘書に求められる基本能力
使用テキスト名	秘書検定3級集中講義			5	第2章 要求される資源	要求される人柄と身だしなみ
補助教材				6	第2章 職務上の心得と仕事の進め方	職務上の心得
				7	第2章 職務上の心得と仕事の進め方	仕事の進めかた
				8	第3章 企業の基礎知識	企業の形態と組織
科目概要と科目到達目標				9	第3章 企業の基礎知識	さまざまな企業活動
科目到達目標：秘書検定3級合格とのビジネスの場で必要な文書、ファイリング、事務用品、会議などについての初歩的な知識、用語を学ぶ。オフィスの環境整備についての知識やビジネスマナーを身に付ける。				10	第3章 社会常識	基本用語を身につける
				11	第4章 マナー・接遇 職場での話し方	人間関係と話し方
				12	第4章 マナー・接遇 職場での話し方	敬語と言葉使いの基本
				13	第4章 マナー・接遇 職場での話し方	話し方・聞き方の応用
				14	第4章 マナー・接遇 電話対応	電話のマナーと対応の基本
授業の進め方・学習方法・課題				15	第4章 マナー・接遇 電話対応	電話のマナーと対応の基本
社会人として適切な正しい日本語や必要なマナーやビジネスメールの書き方などを授業を通して学ぶ				16	Review	
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	Assessment Test	
				18	第4章 マナー・接遇 接遇	待遇の基本
				19	第4章 マナー・接遇 接遇	待遇の要領とマナー
				20	TOEIC公開テスト対策	慶事と弔事への対応
評価方法・成績評価基準				21	第4章 マナー・接遇 交際	贈答の習わしと食事のマナー
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	第5章 技能 会議	会議と秘書の業務
【成績評価基準】				23	第5章 技能 文書の作成	社内文書
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第5章 技能 文書の作成	社外文書・メモの取り方・グラフの作り方
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第5章 技能 文書の取扱い	発信・受信業務と関連知識
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	第5章 技能 文書の取扱い	郵便の知識
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第5章 資料管理	ファイリングと各種資料管理
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第5章 日程管理・ファイリング	日程管理とオフィス管理
実務経験教員の経歴				29	過去問	過去問題をとく
				30	過去問	過去問題を解く
				31	過去問	過去問題を解く
				32	過去問	過去問題を解く
				33	過去問	過去問題を解く
				34	Assessment Test	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Chapter1 Wordの基本ー(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
学 科 名	上級英語科	必須・選択	必須	2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
学 年	1年生	担当教員	今井	3	Chapter2 文字入力と基本操作ー(新規文書の作成・日本語入力システム)	文字入力について
科 目 名	PC実習 I	時間数	68単位時間	4	文字入力と基本操作ー(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	文字入力と基本操作ー(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
使用テキスト名	Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター			6	文字入力と基本操作ー(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
補助教材	Word 文書処理技能認定試験 問題集			7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
科目概要と科目到達目標				8	Chapter3 文書の編集ー(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
Word処理技能検定3級取得				9	文書の編集ー(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
Excel表計算処理技能認定試験3級 取得				10	文書の編集ー(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
				11	文書の編集ー(禁則処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
				13	Chapter4 文書の印刷ー(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷ー(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
授業の進め方・学習方法・課題				15	文書の印刷ー(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について
Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格				16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方				17	Chapter5 文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/あいさつ文)	文章フォーマットについて
など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ				18	文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	文書の作成ー(罫表書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて
				20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
評価方法・成績評価基準				21	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて
				22	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて
①出席 ②提出課題 ③授業態度 ④検定取得				23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
【成績評価基準】				24	Chapter6 表を使った文書の作成ー(学習する内容・表の作成)	表の作成について
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	表を使った文書の作成ー(表の選択方法・表の編集)	表の作成について
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	表を使った文書の作成ー(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成ー(学習する内容・図形の作成)①	図形や画像作成について
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の作成)②	図形や画像作成について
				30	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について
				31	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について
実務経験教員の経歴				32	図形や画像を使った文書の作成ー(横書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について
				33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
				34	総合学習問題・テスト	

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	選択必修	1	第1課 我饿了。	声調の習得
学年	1年生	担当教員	富田朋美	2	第1課 我饿了。	韻母1の習得
科目名	中国語 I	時間数	68単位時間	3	第1課 我饿了。	声母1の習得
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	第1課 我饿了。	韻母2 軽声の習得
使用テキスト名	中国語への道【初級編】—近きより遠きへ— 改訂版			5	第2課 真好吃。	声母2の習得
補助教材				6	第2課 真好吃。	韻母nとngの使い分け
科目概要と科目到達目標				7	第2課 真好吃。	変調パターン1の習得
				8	第2課 真好吃。	数字の習得
科目到達目標: 中国語検定試験 準4級取得または準4級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				9	第3課 多少钱?	量詞の習得
				10	第3課 多少钱?	軽声2の習得
				11	第3課 多少钱?	変調パターン2の習得
				12	第3課 多少钱?	変調パターン3の習得
				13	決まり文句・あいさつ表現	儿化について知る
				14	第4課 我们都是学生。	A是/不是Bの使い分け
授業の進め方・学習方法・課題 前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるようにグループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				15	第4課 我们都是学生。	疑問文～吗の使い方
				16	第4課 我们都是学生。	也と都の使い分け
				17	第5課 你去哪儿?	人称代名詞の使い方
				18	第5課 你去哪儿?	述語と目的語の見分け方
				19	第5課 你去哪儿?	名前の言い方の習得
				20	第6課 你今年多大了?	名詞述語文の使い方
評価方法・成績評価基準  ①定期試験・検定合格 40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	第6課 你今年多大了?	省略疑問文の使い方
				22	第6課 你今年多大了?	月日曜日の言い方
				23	第7課 这个很好吃。	形容詞述語文の使い方
				24	第7課 这个很好吃。	比較文の使い方
				25	第7課 这个很好吃。	反復疑問文の使い方
				26	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				27	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				28	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				29	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				30	第8課 你家在哪儿?	“在”所在の使い方
実務経験教員の経歴				31	第8課 你家在哪儿?	“有”所在、所有の使い方
				32	第8課 你家在哪儿?	時点と時量の塚方
				33	期末テスト	
				34	振り返り	



国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	選択必修	1	ハングル能力試験対策1	模擬問題を解く
学年	1年生	担当教員	中林・柳	2	ハングル能力試験対策2	模擬問題を解く
科目名	韓国語 I	時間数	68単位時間	3	ハングル能力試験対策3	模擬問題を解く
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	ハングル能力試験対策4	模擬問題を解く
使用テキスト名	実用韓国語文法初級			5	ハングル能力試験対策5	模擬問題を解く
補助教材	韓国語と韓国文化基礎			6	ハングル能力試験対策6	模擬問題を解く
				7	ハングル能力試験対策7	模擬問題を解く
				8	1. あいさつ1	あいさつができる
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	1. あいさつ2	あいさつができる
科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得または5級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				10	2. 母音1	韓国語の母音を学ぶ
				11	2. 母音2	韓国語の母音を学ぶ
				12	3. 子音/濁る音1	韓国語の子音を学ぶ
				13	3. 子音/濁る音2	韓国語の子音を学ぶ
				14	4. 子音/息を強く吐く音1	韓国語の子音を学ぶ
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				15	前期試験	
前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるように グループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を 講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				16	ハングル能力試験対策8	模擬問題を解く
				17	ハングル能力試験対策9	模擬問題を解く
				18	ハングル能力試験対策10	模擬問題を解く
				19	ハングル能力試験対策11	模擬問題を解く
				20	ハングル能力試験対策12	模擬問題を解く
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21	ハングル能力試験対策13	模擬問題を解く
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	ハングル能力試験対策14	模擬問題を解く
<b>【成績評価基準】</b>				23	ハングル能力試験対策15	模擬問題を解く
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	ハングル能力試験対策16	模擬問題を解く
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	ハングル能力試験対策17	模擬問題を解く
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	ハングル能力試験対策18	模擬問題を解く
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	4. 子音/息を強く吐く音2	韓国語の子音を学ぶ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	5. 合体する母音1	韓国語の母音を学ぶ
				29	5. 合体する母音2	韓国語の母音を学ぶ
				30	6. パッチム1	韓国語のパッチムについて学ぶ
				31	6. パッチム2	韓国語のパッチムについて学ぶ
<b>実務経験教員の経歴</b>				32	7. 自己紹介1	自己紹介ができる
				33	7. 自己紹介2	自己紹介ができる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	非言語分野『基本計算編』	学校生活について考える
学年	1年生	担当教員	坂上 啓貴	2	非言語分野『基本計算編』	
科目名	LiberalArt I	時間数	34時間	3	非言語分野『基本計算編』	
開講期間	通期	授業形態	対面授業/オンライン	4	非言語分野『図表関連問題編』	
使用テキスト名	なし			5	非言語分野『図表関連問題編』	学校生活と海外留学について考える
補助教材	SPI問題集(永岡書店)、時事英語、パワーポイントスライド			6	非言語分野『図表関連問題編』	
				7	非言語分野『思考関連問題編』	
科目概要と科目到達目標				8	非言語分野『思考関連問題編』	海外留学と大学について考える
科目概要:道徳やディスカッションを通して物事を考えたり話し合う必要性を見出す。				9	非言語分野『思考関連問題編』	
科目到達目標:発言力、発信力を身につけ相手に自身の意見を伝えられる会話力を身につける。				10	非言語分野『事柄関連問題編』	
				11	非言語分野『事柄関連問題編』	
				12	非言語分野『事柄関連問題編』	大学の学則について考える
				13	非言語分野『文章理解問題編』	
				14	非言語分野『文章理解問題編』	
				15	SPI性格適正検査	
授業の進め方・学習方法・課題				16	SPI模擬試験	日常生活について考える
1つのトピックにたいして4人グループで話し合い各グループそれぞれの意見を発表し合い、情報をシェアすることで自分の意見だけでなくいろいろな方向からの意見を聞くことで学生一人ひとりの発想力や自分から発信していく力を養う。評価週では1つの題について自分の意見を日本語で書く練習をする。				17	SPI模擬試験	
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	時事英語「新聞記事抜粋」	
				19	時事英語「新聞記事抜粋」	
評価方法・成績評価基準				20	時事英語「新聞記事抜粋」	事件について
出席30%、テスト30%、課題40%				21	時事英語「新聞記事抜粋」	
【成績評価基準】				22	時事英語「新聞記事抜粋」	
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				23	時事英語「新聞記事抜粋」	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				24	時事英語「新聞記事抜粋」	環境について
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				25	時事英語「新聞記事抜粋」	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				26	時事英語「新聞記事抜粋」	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	時事英語「新聞記事抜粋」	
実務経験教員の経歴				28	時事英語「新聞記事抜粋」	政治・経済について
				29	時事英語「新聞記事抜粋」	
				30	時事英語「新聞記事抜粋」	
				31	時事英語「新聞記事抜粋」	
				32	時事英語「新聞記事抜粋」	
				33	時事英語「新聞記事抜粋」	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	SDGsとは
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	2	世界を変える17の目標と169のターゲット	
学年	1年生	担当教員	坂上 啓貴	3	SDGs これまでの歴史	
科目名	国際理解 I	時間数	68単位時間	4	SDGs 1～17解説	目標とターゲット
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	SDGs 1～17解説	目標とターゲット
使用テキスト名	SDGs見るだけノート			6	SDGs 1～17解説	目標とターゲット
補助教材	パワーポイントスライド			7	SDGs 1～17解説	目標とターゲット
				8	SDGs17での改善点とは	諸外国との協力
科目概要と科目到達目標				9	SDGsを理解する上で把握しておくべきこと	それぞれの企業について
科目概要:世界が取り組んでいるSDGsについて学び、日本の抱えている現状を把握し問題解決に目を向ける。				10	SDGsの将来の方向性と重要性	グローバルコモンズ・エコロジカルの重要性
科目到達目標:持続可能な目標達成について自分たちができる事、問題について取り組みプレゼンテーションを行い企業と連携し課題解決に目を向ける				11	生物生産・循環化能力問題	資源不足
				12	17目標に関連する諸研究とその展開	研究開発等、諸外国に焦点を当てる
				13	アジェンダ—30SDGs17目標の結び	持続可能な人類社会を実現する
				14	発表	GRPに分かれて発表
授業の進め方・学習方法・課題				15	発表	GRPに分かれて発表
日本が抱えている問題を企業から事例をあげてもらいグループで話し合い、解決提案をグループで考える				16	発表	GRPに分かれて発表
グループで考えたことをシェアし問題点、解決策を提示し、プレゼンする。				17	まとめ	
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	企業がSDGsに取り組むべき理由	世界で求められていることは？
				19	SDGsとCSR CSVの違いとは？	SDGsを理解して違いを知る
				20	TOEIC公開テスト対策	市場における価値を学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	企業がSDGsの活用を進める4つのメリット	メリット・デメリットを考える
①プレゼンテーション40%、②課題提出率30%、③学習意欲30%				22	できること、できそうなことからSDGsに取り組む	できること、できそうなこと
【成績評価基準】				23	SDGs先進国スウェーデンの「高い環境意識」	スウェーデンのSDGs
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	企業との連携 サプライチェーンから見えてくること	1社ではできないことができる
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	企業が起こした様々な不祥事	「環境」や人「権問題」
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	「サプライチェーン」と「バリューチェーン」とは	SDGsに取り組む上で知っておくべきこと
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	サプライチェーン上で起こる主な問題	サプライチェーンには様々な問題が隠れている
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	サプライチェーンマネジメントとは	リスクマネジメント
				29	企業は経営とSDGsをどうリンクさせるのか？	持続可能なサプライチェーンを構築する原動力とは
				30	日本の企業の進捗状況は？	ビジネスとSDGsを両立させる 企業の取り組みから学ぶ
				31	発表	GRPに分かれて発表
実務経験教員の経歴				32	発表	GRPに分かれて発表
				33	発表	GRPに分かれて発表
				34	発表	まとめ

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	はじめに マナーの必要性	身だしなみについての理解と実習
学年	1年生	担当教員	北村裕美	2	身だしなみについて おしゃれと身だしなみにつ	身だしなみについての理解と実習
科目名	ビジネスマナー	時間数	17単位時間	3	身だしなみについて ビデオ撮影	身だしなみについての理解と実習
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	身だしなみについて ビデオ撮影 チェック	身だしなみについての理解と実習
使用テキスト名	実践ビジネスマナー			5	お辞儀 ・立ち方	美しい挨拶についての理解と実習
補助教材				6	お辞儀 ・立ち方 3つのお辞儀 ・使い方	美しい挨拶についての理解と実習
				7	お辞儀 ①	美しい挨拶についての理解と実習
				8	お辞儀 ②敬礼	美しい挨拶についての理解と実習
科目概要と科目到達目標				9	お辞儀 ③最敬礼	美しい挨拶についての理解と実習
科目到達目標： 社会人としての立ち居振る舞いや面接、初対面の方への挨拶の仕方、名刺交換 基本的なビジネスマナーの理解と習得				10	お辞儀 ビデオ撮影	美しい挨拶についての理解と実習
				11	お辞儀 ビデオ撮影チェック	美しい挨拶についての理解と実習
				12	入退室の仕方 ・ドアの開閉の仕方 ・表情 ・身	入退室マナーについての理解と実習
				13	入退室の仕方 ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
				14	入退室の仕方 ビデオ撮影チェック	入退室マナーについての理解と実習
授業の進め方・学習方法・課題				15	椅子の座り方 ・面接対応①	入退室マナーについての理解と実習
授業前半には講義を行うが、後半はロールプレイングを行い、基本的な所作などを身に付ける。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	椅子の座り方 ・面接対応②	入退室マナーについての理解と実習
				17	試験	
評価方法・成績評価基準						
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-79点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	国内地理 導入(勉強法・基礎理解)	地理勉強方法、都道府県庁所在地の理解
学年	1年	担当教員	矢後 達夫	2	国立公園・山岳	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
科目名	国内観光資源	時間数	34単位時間	3	高原・湿原	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	4	湖・池・沼	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
使用テキスト名	JTB総研「国内地理プラクティカル」			5	島・岬・半島	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
補助教材	パワーポイントスライド 各種映像使用			6	海岸・鍾乳洞・洞窟	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
科目概要と科目到達目標				7	河川・溪流	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				8	渓谷・峡谷・谷	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
日本国内の観光資源(自然・温泉・祭事等)についての学習について理解を深める。				9	庭園・小京都	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				10	温泉(東日本)	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				11	温泉	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				12	祭り	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				13	寺社・仏閣	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
授業の進め方・学習方法・課題				14	博物館・美術館	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				15	民謡・陶磁器・郷土料理	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。 定期的にテストと補講を実施。  補足・国内地理(ICとの合同授業)の授業と併用して試験対策にあてることとする。				16	確認テスト	まとめ
				17	確認テスト	まとめ
				18	国内地理 後期オリエンテーション	前期の振り返り
				19	国立公園・山岳	前期学んだ箇所のエリア学習
評価方法・成績評価基準				20	高原・湿原	前期学んだ箇所のエリア学習
				21	湖・池・沼	前期学んだ箇所のエリア学習
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	島・岬・半島	前期学んだ箇所のエリア学習
				23	海岸・鍾乳洞・洞窟	前期学んだ箇所のエリア学習
				24	河川・溪流	前期学んだ箇所のエリア学習
				25	渓谷・峡谷・谷	前期学んだ箇所のエリア学習
				26	旅行地理」検定対策	実力判定
				27	旅行地理」検定対策	実力判定
				28	旅行地理」検定対策	実力判定
				29	旅行地理」検定対策	実力判定
				30	旅行地理」検定対策	実力判定
				31	旅行地理」検定対策	実力判定
				32	旅行地理」検定対策	実力判定
実務経験教員の経歴				33	確認テスト	まとめ
				34	確認テスト	まとめ
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間						